

令和2年7月1日

日本理学療法士協会
東北ブロック協議会
会員各位

第38回東北理学療法学会会長
遠藤 武秀

第38回東北理学療法学会のWeb開催への変更のお知らせ

仲夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。この度の新型コロナウイルス感染拡大により、皆様の日常生活はもとより、職場である各病院、施設においても多大な影響を受けておられることと存じます。日々の業務に追われながらも、理学療法士の役割を再認識されている方々も多いのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染拡大の、第2波が懸念される中、令和2年10月17日～18日に予定しておりました第38回東北理学療法学会（会場：山形テルサ）は、開催方法をWeb方式に変更して実施させていただくこととなりました。この変更は、感染拡大防止と学術的活動の両立を考え、準備委員会、山形県理学療法士会、及び東北ブロック協議会が議論を重ねて決定しております。東北理学療法学会としては初めての試みであり、手探りでの企画、準備となりますが、関係機関のご協力を得ながら、開催に向けての準備をしっかりと進めていく所存です。

テーマは変更せずに、メインテーマ「理学療法士としての多角的な成長」、サブテーマ「理想の未来像を考える」と掲げております。特別講演、シンポジウムも、同テーマに沿ってお話をいただく予定です。セミナーについても、4名の先生方より予定通りご講義いただくこととなっております。Webにて皆様がそれぞれの時間に合わせて視聴できる録画型の講演動画を配信する予定です。

市民公開講座につきましては、感染拡大防止の観点から、一般市民への公開を取りやめます。それに代わり、理学療法士を対象に、新型コロナウイルス感染拡大に対して理学療法士がとるべき行動について、山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学/衛生学教授の今田恒夫先生から教育セミナーとしてお話いただく予定です。

演題発表につきましては、現在76題の演題登録をいただいております。当初は口頭発表とポスター発表の予定でしたが、すべての演題をe-ポスター形式で発表用のスライドをweb上に公開させていただくことを検討しています。演題登録していただいた先生方には改めて発表のご意志の確認をさせていただく予定です。

今後、当初のプログラムの内容や方式を一部変更させていただく可能性はありますが、現状をご理解いただき、詳細につきましては、本大会ホームページでご確認くださいようお願いいたします。なお、現在はまだ詳細について検討を重ねており、決定次第、情報を更新します。

10月の山形は、果物やラーメン、そば、日本酒、芋煮に温泉等々、楽しんでいただけるものが豊富にあります。皆様に来ていただくことができず非常に残念であります。

最後になりますが、山形県理学療法士会会員一同、Webによる本大会への多数のご参加を心よりお待ちしております。